

# たいむ

11月号 [H27.11.1発行]

## ■ ゆったり 「ゆるたいそう月」 ■



10月2日(金)、以前から遊びに来ていただいているお母さん方から、「くゆるたいそう」をまたやりたい」というリクエストをたくさんいただき、約3年ぶりに短大の田中葵先生による「くゆるたいそう」を行いました。

田中先生は、ストレッチの仕方や普段の生活の中への取り入れ方などを分かりやすくアドバイスしてくださいました。「くゆるたいそう」中は、お子さんを抱っこしたり、ひざの上に乗せて一緒に身体を動かしたりと親子でのふれあい

もあり、子どもたちも喜んでいました。

「すごくスッキリするね」「身体が硬すぎるよ」などお母さん方の会話も弾み、笑い声が響く楽しい時間になりました。スッキリ顔のお母さん方から「また参加したい」というお声もいただき、ほんの少しの時間でしがリフレッシュしていただけたのだなと嬉しくなりました。

当日は、田中ゼミの学生が子どもたちと一緒に遊んでいる間に、お母さんたちの《ゆったり たいむ》を始めました。2年生の田中ゼミの学生も、1・2才の小さな子どもたちとふれあえる貴重な時間となりました。

今回は残念ながら予定が合わず参加できなかった方もいらっしゃいました。次の機会にはたくさんの方に参加してもらえたらと思います。



## ■ ちょっと おでかけ! ■

ある日の昼休みのことです。玄関前に停まっていた「あそぼうカー」を見たい2才児のTくん。そこでTくん、「K君、あそぼうカー見にいこう!」とたいむに遊びに来た仲良しのお兄さん(学生)を誘い、2人で手を繋いで出かけて行きました。(その間、お母さんは赤ちゃんとお留守番です。)

K君に抱っこをしてもらいながら何度も車内をのぞいたり、車の周りをぐるっと回ったりしてあそぼうカーに興味津々のTくん。そこで、スタッフがTくん「あそぼうカーにハンドルはついてる？」とたいむの廊下の窓から質問してみると、「ハンドルついてないよー」と一言…。「あれ？ Tくん、今車の中見たよね？ ついてなかった？」とK君。「うん。ないよー」とTくん。何度か面白いやり取りをしていた2人でした。

その後は校内を散策しに行き、初めての場所や物に興味津々の様子。Tくんは「お勉強する」とはりきり、周りの学生と一緒に教室に入ろうとすると「かわいい」「おもしろい」と学生たちに大人気でした。

この日の昼間はTくんだけだったのですが、学生たちと校内を散策してきたことを嬉しそうにお母さんに話していて、お母さんも「よかったね」と笑顔で話を聞いていました。

普段〈たいむ〉とあまりかかわりのない学生や職員たちも、校内を散策しているTくん「たいむ」の笑顔で話しかけていました。その様子を見ると、Tくんが校内中に〈たいむ〉の宣伝をしに行ってくれたようだなと思いました。この宣伝効果を期待して、沢山の学生たちが遊びに来てくれることを楽しみにしてみようと思います。



## ■ Yくんの挑戦！ ■

ある日の図書館での一コマです。1才児のYくんが絵本コーナーに置いてある箱型の木の椅子をくぐろうとして…《あれ？通れない》正方形の椅子はYくんの肩辺りまでは通るのですが、幅がとても狭いので通り抜けることはできませんでした。

そこでYくんは考えました！ 正方形では通れなかったので、今度は長方形で再挑戦。「う～ん」と頑張りながら一人でくぐることができ、周りの大人も拍手をして一緒に喜んでいると…。

どうやら、また正方形の方に挑戦していました。やっぱり、正方形は難しいようでしたが、好奇心いっぱいの可愛らしい場面でした。

“やってみよう”“こうすれば出来るかな？”と、どんなに小さな子どもでも自分が思ったように行動が出来るようになってきます。それを見守る大人にとってはハラハラドキドキしてしまう事がたくさんありますが、子どもにとっては全てが興味の対象になっているのでしょうね。身体や心の発達はもちろんのこと、いろいろな事を経験していく中でたくさんを学び、しっかりと活かしながら日々成長しているのですね。Yくんも、箱型の椅子に興味を持ち➡くぐってみようと思いつき➡行動して➡できない➡また考えて➡行動➡できた！ というように、何気ない日常の一コマにも子どもたちの成長が隠れているかもしれませんね。



## ■ わらべうたサロン♪ ■



10月16日(金)、3ヶ月ぶりに古山先生のわらべうたサロンがありました。今回は1組の参加でしたが、学生も一緒に楽しみました。

1才児のNちゃんは、お母さんと普段から「わらべうた」で遊んでいるようで、古山先生が歌を歌いだすとNちゃんも一緒に歌い、身体を動かしていました。また、学生におんぶをリクエストしたNちゃん。「馬はととしし」のわらべうたに合わせてお姉さんに動いてもらうと、「もっとやって」とご機嫌でした。

大人ばかりの「わらべうたサロン」で、最初は子どもに圧迫感を与えてしまわないかと不安がありました。全くそんな様子もなく、Nちゃんの行動や言動にとっても和やかな雰囲気になりました。

**次回は11月20日(金)です。どうぞ、お気軽にご参加ください。**



## ■ みかん狩りツアー♪ ■



中庭のみかんが美味しそうな色になってきたので、どんな感じになっているのか気になっていたスタッフ。そこで、遊びにきていた3才児のYくん・Kちゃん・1才児のTちゃん・お母さんたちを誘い、「中庭みかん狩りツアー」へ出発しました。Yくん・Kちゃんはお母さんと美味しそうなみかんを探し、はさみで一生懸命みかんを切っていました。Tちゃんのはさみが使えないので、スタッフが切ったみかんをポリ袋を広げて受け取ってくれました。

みかん狩りの後といえば…そう、お楽しみの試食です。お味の方はというと、自家栽培なので酸味がありますが、少し甘くなっていて食べやすかったです。酸っぱい方が好きな方にはオススメかもしれませんね。子どもたちは「おいしいよ」とたくさん食べていました。みんなで交換しながら、色々なみかんの味を楽しみました。

普段の生活の中では、みかんを庭に採りに行くということはあまりないのではないのでしょうか。季節の果物を自分の目で見て・自分で選び・自分で収穫するという体験を、身近な遊びとしてあっても良いのかなと思います。私自身も小さい頃に遊びながら、みかんや柿、あけびなどを採っていたなと思い出します。現代の子どもたちにも、あらかじめ用意された環境ではなく、自然になれた果物を収穫する経験してもらえると嬉しいですね。帰りには、自分たちで収穫したたくさんのみかんを嬉しそうに持ち帰りました。



## ■ 芋ほり&焼き芋をしたよ！ ■

10月23日(金)、短大中庭の畑にて芋ほり&焼き芋会をしました。

5月にサツマイモの苗を植えてから待ちに待ったこの日は、20組23名というたくさんの親子

が参加してくれました。

畑の土に触るのを嫌がる子もいましたが、お母さんと一緒に土に触れ、「ここにお芋があるかな？」と頑張って掘っていました。「あ！ここにあるよ」「お芋とれたよ」と、子どもたちの嬉しそうな表情が見られました。芋ほりの次は、子どもたちが小さな手で一生懸命きれいに芋を洗い、最後の仕上げにお母さんと一緒にアルミホイルに包みました。あとは順番に焼いていき、あつあつの焼き芋を待つだけ。



焼き上がりを待つ間、中庭の砂場やブランコ・天気も良かったので少しだけ水あそびもして賑やかに過ごしました。なかなか中庭に出て遊ぶ機会が少ないように感じていましたが、賑やかに遊んでくれるのはいいものです。焼き上がった芋は学生が皆のところまで配りに行ってくれました。「ホクホクしていて美味しかったよ」など嬉しい感想をたくさんいただきました。

苗植えをしてから、あっという間に収穫の時期になってしまいました。季節が早々と移っていく中でこうした催しを行うことは、一つの節目のようにも感じられます。また、この催しは約半年ほど継続されてきたともいえます。「苗植え」から「収穫・食す」までの過程を、少しでも子どもたちに見てもらえたかなと思います。畑のお世話をしてくれた方々、参加して下さった皆さん、ありがとうございました。



### ■今月の「あそべ屋」■

初回から、たくさんご参加いただきました。子どもたちから誘われ、学生たちも多くのかかわりと満足を得ることができました。来月もよろしく願いいたします！！

#### 13日（火）「小麦粉粘土」（参加者；子ども27人・保護者15人）

食紅で色を付けた小麦粉粘土を作りました。午前は大きな色の塊を作り、みんなでこねました。午後は一人ひとり小分けにして、個々に作りました。小さい子から年長まで楽しめたようでした。学生もはじめての広場にドキドキしながら、なんとか行うことができました。

#### 27日（火）「ハロウィーン」（参加者；子ども37人・保護者24人）

薄暗い校内をスタンプラリーをして回りました。意外にも、小さい子の方が怖がらないようでした。しかし、プレゼントのメダルが足りなくなったり、学生は事前準備や計画作成があまり共有できず、課題や困難を抱えて始まった2回目のひろばでした。「次回はしっかり計画を練る。そしてLINEでは情報共有しない」ことを反省会で確認しました。



【あそべ屋学生スタッフ】；荒井優奈、伊藤加菜、江口愛花、大野広和、大宮優一、君塚友美、高橋楓、豊田真央、平井美夢